



設立30周年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

旧年中も格別のお引き立てを賜り有難うございました。

昨年11月21日に当社は設立30周年を迎えることができました。これも一重に当社理念と事業に賛同頂き、支え続けて下さいました皆様のお陰であると社員一同感謝を申し上げる次第であります。

この30年は、日本の企業として『マクロビオティック製品の輸出』『オーガニック認定の普及』に携わったパイオニアの1社として邁進した30年でもありました。海外のお客様から日本の伝統食品のオーガニック認定を取得してほしいという要望に応えたことをきっかけに、当時日本では調達することが出来なかったオーガニック原材料の一つ一つを求め、世界中のオーガニック生産者を探し求めて参りました。また日本でも、海外同等のオーガニック認定基準の必要性を早期から提唱し、認定団体の設立にも寄与させて頂きました。それら活動を通じて、当社が築き上げたネットワークは、今日では40ヶ国以上、取扱商品数は数百品目までに広がりました。

30年の節目に、今一度当社のこだわりについて明文化しましたので、ご一読頂ければ幸いです。

当社がなぜマクロビオティックにこだわるのか？

それは“半世紀以上継続されている真の食育活動”だからです。創業期より、食ということを、人、農地、季節、環境などの循環性をもった多面的角度でとらえ、健康的なライフスタイルを世界中へ提供していくことが出来るからと考えるからです。自然のリズムで育った食べ物は、私達に健康をもたらす、自然と共生する道を与えてくれます。それを活かした食生活がマクロビオティックです。それは、かつての私達が長年にわたって築き上げてきた生活の知恵でもあります。最近になってようやく「食育」のあり方が注目され、食べものの知識や選び方、調理方法、食べ方などそれぞれの伝統に基づいた食文化を守っていく事が大切と説かれています。これからも絶えずことなくマクロビオティックを通じて社会や皆さまの健康に貢献していきたいと考えています。

当社がなぜオーガニックにこだわるのか？

それは当社が考える“最も持続可能な生態系維持の方法”であり、“人類とあらゆる生態系との共存共生の最適な方法”であると信じているからです。そして次世代に健全な地球を、未来を残していくことが当社の存在意義であると信じており、

また生産者、製造者、流通業者、消費者が適切な利潤を分かち合えるのもオーガニックの利点であると考えます。勿論、可能な限り安価、且つ適切な価格で末端の皆様に商品をお届けする努力は全ての段階で必要ですが、適度な利益を還元することが出来るのもオーガニックビジネスのフェア精神には必要です。

“本当に身体に良い本物だけを一人でも多くの人へ届けたい”

地球というただひとつの大きな自然が私達のビジネスを育んでいます。自然を相手に取り組むビジネスは、思い通りにならない困難さともないませんが、それだけに成果を得たときには自然の偉大さを実感できるビジネスでもあります。費やすたくさんの時間と、人々の努力、そして地球の恩恵をうける事によって初めて成立するオーガニックビジネスを世界共通のビジネスに育てるために、私達はこれからもネットワークを広げ、オーガニックビジネスで世界中をつなぐグローバルビジネスにしていきたいと考えています。

これからも食に関わる様々な課題に挑戦し、『食を中心とした健康的なライフスタイル創造企業』として革新的な商品やサービスを提供し続けてまいりますので、本年もスタッフ一同宜しくお願い申し上げます。

2016年 元旦 代表取締役社長 岡田 征剛

